

なぜ地盤調査をしないといけないのか？
上部建物構造・基礎・地盤補強の三位一体設計の必要性

「地盤の基本から・・・」講習会～そもそも地盤って？～

日時 平成29年 3月 23日 (木)
13:30～16:30(受付13:00～)
会場 ハードオフエコスタジアム新潟 会議室4
新潟市中央区長潟570番地 TEL:025-287-8900

講習の目的
と
内容
(詳細裏面参照)

講師:佐藤 一枝氏

株式会社 ソイルペディア代表取締役
一級建築士・性能評価員



出頭 宗隆氏

株式会社 ソイルペディア北海道支社長
住宅地盤主任技師・地盤審査補償事業審査員

今までは地盤に関しては地盤調査会社に、基礎については基礎工事業者にまかせきりだったことも、設計者、施工者を取り巻く環境が大きく動いている現状においては、瑕疵保険に入っているから！では安心できない時代になってきております。(詳しくは裏面を)地盤調査結果からわかること、補強工事の選定は？いま、知りたいことがわかる「地盤の基礎」セミナーです。皆様のご参加をお待ちいたしております。

募集人数

50名様 ※先着順です。お早めにお申し込みください。

受講料

¥1,000(税込) 資料代として当日受付にていただきます。

申込締切

3月16日(木)

申込方法

メール又はFAX で、氏名・会社名・住所等必要事項を入力し、メールは、件名に「地盤セミナー申込」として下記アドレスへ送信ください。複数でご参加の場合は、参加者様全員のお名前を入力してください。

CPD登録

3単位:申込時、メールに建築士番号またはCPD登録番号を入力しお送りください。

メール:sakuma@ms-structure.co.jp

ご参加者様名:

(CPDNo.: _____)

(CPDNo.: _____)

会社名:

TEL: _____ FAX: _____ mail: _____@_____

問合せ

新潟地域型住宅協議会

【事務局】

株式会社M's構造設計内

〒951-8061 新潟市中央区西堀通三番町西堀カメリア902号室

TEL:025-226-8118

Fax:025-226-8117

(佐久間)

※新潟地域型住宅協議会は、地域型住宅グリーン化事業に参加しています。

昨年熊本地震でも住宅倒壊において構造の重要性が論議されたことは言うまでもありません。また、2000年4月の品確法(住宅の品質確保の促進等に関する法律)より10年の瑕疵担保責任が定められ、2009年に住宅瑕疵担保履行法が施行されて以来、住宅瑕疵の保険制度が始まりました。

瑕疵保険設計施工基準として地盤及び基礎に関する項目があることはご存知のことと思われます。

2011年最高裁判決により「民法上の不法行為責任の範囲」が明示され、今までは10年の瑕疵担保責任で終わっていたものが20年の責任追及される時代が来ております。

満期10年の瑕疵保険では損失を穴埋めできないということも考慮しなくてはなりません。

この法律は直接契約関係にない設計者や施工者も責任を負う対象者となり、実際、地盤・基礎においても判例が出てきている状況です。

ですが、地盤については地盤会社、基礎については基礎工事業者に任せているということが多い現状ではないでしょうか？

地盤の基本や調査結果から読み取れること、補強工事の選定などをお話いたします。

たくさんのご参加をお待ち申し上げます。

講習内容(予定)

① そもそも地盤って？

- ①-1 地盤の年代
- ①-2 地盤の構成
- ①-3 特徴的な土質

② 地震と地盤の関係性

- ②-1 液状化のメカズム
- ②-2 液状化被害の特性

③ 地盤が関係する沈下事故例

- ③-1 地盤補強を施した沈下事故例
- ③-2 地盤補強を施さない沈下事故例

④ サウンディング試験の種類

- ④-1 スウェーデン式サウンディング試験
- ④-2 標準貫入試験、ラムサウンディング試験

⑤ 地盤調査報告書から読み取れること

- ⑤-1 支持力(qa)と換算N値
- ⑤-2 支持地盤とは
- ⑤-3 地盤調査報告書の読み解き方

⑥ 地盤補強工事の選択方法

- ⑥-1 代表的な地盤補強工法の種類
- ⑥-2 地盤補強工法別の特徴と適用地盤

⑦ 要注意地盤の簡単な推測方法

- ⑦-1 現地ロケーションでの推測
- ⑦-2 地形図など、机上での推測

⑧ その他(地盤補強工事と液状化)

※上記終了の後

質疑応答